



# ローム株式会社 2014年3月期 第1四半期決算概要

(2013年4月1日から2013年6月30日まで)

2013年8月8日

## 連結業績

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

		14/3期実績		13/3期実績		対前年同期増減		13/3期実績		14/3期計画		
		第1四半期 累計期間	第1四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率	第2四半期 累計期間	対前年 同期 増減率		
売上高	百万円	80,009	74,330	+5,679	+7.6%	292,410	300,000	+2.6%	151,000	+0.2%		
売上原価	百万円	59,132	52,728	+6,404	+12.1%	213,275	207,500		103,000			
販売費及び一般管理費	百万円	19,018	20,244	-1,226	-6.1%	80,056	76,000		38,600			
営業利益	百万円	1,859	1,357	+502	+37.0%	-921	16,500	-	9,400	+255.7%		
(営業利益率)		(2.3%)	(1.8%)	(+0.5%)		(-0.3%)	(5.5%)		(6.2%)			
経常利益	百万円	8,111	227	+7,884	-	11,786	15,000	+27.3%	7,100	-		
(経常利益率)		(10.1%)	(0.3%)	(+9.8%)		(4.0%)	(5.0%)		(4.7%)			
四半期(当期)純利益	百万円	6,780	10	+6,770	-	-52,464	13,500	-	6,500	-		
(四半期(当期)純利益率)		(8.5%)	(0.0%)	(+8.5%)		(-17.9%)	(4.5%)		(4.3%)			
1株当たり四半期(当期)純利益	円	62.89	0.10	+62.79	-	-486.63	125.22		60.29			
自己資本当期純利益率	%					-8.4						
総資産経常利益率	%					1.6						
総資産	百万円	709,984	705,187	+4,797	+0.7%	699,014						
純資産	百万円	628,413	616,092	+12,321	+2.0%	613,647						
自己資本比率	%	88.5	87.3	+1.2		87.7						
1株当たり純資産	円	5,825.18	5,711.63	+113.55	+2.0%	5,688.21						
為替レート(US\$期中平均レート)	円/US\$	97.94	80.40	+17.54	+21.8%	83.23	90.00		90.00			

(注) 計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問合せ先 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21番地 (075)311-2121  
ローム株式会社 広報IR室



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ローム株式会社  
 コード番号 6963 URL <http://www.rohm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 澤村 諭  
 (氏名) 佐々山 英一

TEL 075-311-2121

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	80,009	7.6	1,859	37.0	8,111	—	6,780	—
25年3月期第1四半期	74,330	△8.1	1,357	△72.7	227	△94.4	10	△99.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 16,387百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △14,950百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	62.89	—
25年3月期第1四半期	0.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
26年3月期第1四半期	709,984		628,413		88.5	
25年3月期	699,014		613,647		87.7	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 628,034百万円 25年3月期 613,270百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	151,000	0.2	9,400	255.7	7,100	—	6,500	—	60.29
通期	300,000	2.6	16,500	—	15,000	27.3	13,500	—	125.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	113,400,000 株	25年3月期	113,400,000 株
26年3月期1Q	5,586,356 株	25年3月期	5,586,081 株
26年3月期1Q	107,813,766 株	25年3月期1Q	107,814,756 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

※ 補足説明資料としまして、「2014年3月期 第1四半期決算概要」を別途添付しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

#### 業績の全般的概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での景気後退の長期化や、中国などアジア地域での景気減速が見られる一方で、米国で景気回復が続いたことに加えて、日本でも政府・日本銀行主導の景気改善策が実体経済にも好影響を及ぼし始め、全体として景気は回復傾向となりました。

地域別には、米国では、住宅市場や個人消費が引き続き堅調に推移したほか、雇用情勢もわずかながら改善傾向が続きまし。ヨーロッパでは、財政金融問題については小康状態に向かったものの、厳しい雇用情勢が続くなど実体経済は引き続き厳しい状況が続きまし。アジア地域では、中国において経済成長の鈍化や金利の急上昇にともなう金融不安が懸念されはじめたほか、韓国でも消費や投資が伸び悩むなど、景況感減速傾向となりました。日本においては、株高や円安が個人消費や輸出に好影響を及ぼし始め、景気は回復基調となりました。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレットPCなどが引き続き好調に推移したほか、自動車市場も引き続き堅調に推移し。加えて、AV機器市場においてもテレビ市場がプラス成長に転じるなど、ようやく明るさが見え始めまし。

このような経営環境の中、ロームグループにおきましては、海外市場での販売体制を引き続き強化したほか、中長期的な成長が期待される自動車関連市場や産業機器市場に向けて製品ラインアップの強化を進めまし。また、前年に引き続いて生産体制の再編や半導体材料の見直し、歩留まりの改善による効率化など全グループを挙げてコストダウンに取り組みまし。さらに、中長期的な視点での業績拡大に向けて、①ラピスセミコンダクタ株式会社とのLSIシナジー、②SiCなどのパワーデバイス・パワーモジュール製品、③LED及び関連製品、④センサ関連製品を「4つの成長エンジン」と位置づけ、製品ラインアップの充実に努めまし。

新製品については、高速動作と省エネルギーを同時に実現した高耐圧トランジスタ「Hybrid MOS」（※1）や、車載用の各種電源関連LSIの開発などを進めたほか、ビル向けなどに、エネルギーハーベスト（※2）を使用したバッテリーレス・ワイヤレス無線を実現する「EnOcean」（※3）製品を発売するなど新市場の開拓にも努めまし。

さらに、従来に引き続いて海外市場を中心に顧客サポート体制の充実に努めたほか、産業機器市場などの重点市場における販売体制を強化しまし。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は800億9百万円（前年同期比7.6%増）となり、営業利益は18億5千9百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

経常利益につきましては、為替差益が影響し81億1千1百万円（前年同期は経常利益2億2千7百万円）となり、四半期純利益は67億8千万円（前年同期は四半期純利益1千万円）となりました。

#### ※1. Hybrid MOS

ロームが開発した新しい構造のトランジスタで、高耐圧・大電流を得意とするIGBTトランジスタと、低損失のMOSトランジスタの両特性を備え持つ。

#### ※2. エネルギーハーベスト

自然界に存在するエネルギーを使用可能な電気エネルギーに変換することをいう。

#### ※3. EnOcean

バッテリーレス・ワイヤレス無線通信技術の開発促進を主宰する企業名で、バッテリー不要、メンテナンス不要の通信技術やセンサ技術を用いて、BEMSやHEMSに対応したネットワークシステムの開発を進めている。ロームは次世代無線通信規格推進団体「EnOcean Alliance」の主幹メンバーであるプロモーターに就任、「EnOcean」製品の開発と販売に注力しています。

#### 業績のセグメント別概況

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「LSI」及び「半導体素子」の2区分から「LSI」、「半導体素子」及び「モジュール」の3区分に変更しております。なお、下記の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### <LSI>

当第1四半期連結累計期間の売上高は365億5千万円（前年同期比2.2%増）、セグメント損失は3億8千7百万円（前年同期はセグメント損失22億5百万円）となりました。

デジタルAV機器分野では、デジタルスチルカメラ市場がスマートフォン市場拡大の影響を受け低迷し、これによりレンズコントローラドライバLSIや電源関連LSIの売上が低迷しました。薄型テレビ市場については季節的に回復傾向となったものの、市場が飽和状態にあることからその回復は弱く、LCDパネル用電源LSIなど売上は厳しい状況が続きました。ゲーム機市場についても同様に回復は弱く、センサLSIや電源LSIが厳しい状況となりました。携帯電話市場向けでは、LEDドライバLSIなどが引き続き厳しい状況となった一方で、スマートフォン向けのセンサLSIの売上が好調に推移しました。パーソナルコンピュータ向けではタブレットPC向けの電源LSIなどは好調に推移したものの、ノートPC市場は大きく落ち込みました。車載関連市場ではカーオーディオ向けなど電源LSIが売上を伸ばしました。また産業機器市場向けについても電源LSIが堅調に推移しました。

グループ会社のラピスセミコンダクタ株式会社では、タブレットPC向け液晶ドライバLSIやゲーム向けメモリLSIの売上は増加しましたが、通信関連機器向けLSIの売上が低迷しました。

生産体制におきましては、前連結会計年度に引き続き、前工程、後工程における効率改善に取り組みました。

#### <半導体素子>

当第1四半期連結累計期間の売上高は287億3千4百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益は22億2千1百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

トランジスタ、ダイオードにつきましては、車載向け、スマートフォン向けなどの売上は回復局面となりましたが、PC向け、アミューズメント向けは厳しい状況が続きました。

SiCについては、エアコン向けなどにパワーデバイスの採用が拡大したほか、SiCモジュールについても産業機器向けを中心に拡販に注力しました。

発光ダイオードにつきましては、アミューズメント向け青色LEDや、超小型LED「PICOLEDシリーズ」が売上を順調に伸ばしたものの、携帯電話向けなどの売上は低迷しました。

半導体レーザにつきましては、DVDプレーヤ向けやプリンタ向けの売上が回復傾向となりました。

生産体制におきましては、茨城県にあるトランジスタのウエハ工場を閉鎖したほか、タイ、フィリピン、中国・天津などの各グループ工場で効率改善に努めました。

#### <モジュール>

当第1四半期連結累計期間の売上高は82億2千3百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は5億7千6百万円（前年同期比60.1%増）となりました。

プリントヘッドにつきましては、中国、アメリカ市場のミニプリンタ向けプリントヘッドなどが好調に推移し、売上は改善傾向となりました。

パワーモジュールにつきましては、LED照明用電源モジュールや無線LANモジュールの売上が増加傾向となりました。

オプティカルモジュールにつきましては、スマートフォン向け近接センサ（※4）及びプリンタ向けフォトインタラプタ（※5）が好調に推移しました。

生産面では、中国・大連のグループ工場で組立て工程の自動化を進め、生産効率改善に取り組みました。

#### ※4. 近接センサ

対象物の接近を非接触で検知するセンサの総称。

#### ※5. フォトインタラプタ

対向する発光部と受光部を持ち、発光部からの光を物体が遮るのを受光部で検出することによって、物体の有無や、位置を判定するセンサの一種。

#### <その他>

当第1四半期連結累計期間の売上高は65億円（前年同期比5.0%増）、セグメント損失は5億3千7百万円（前年同期はセグメント損失4億3千7百万円）となりました。

抵抗器、タンタルコンデンサにつきましては、車載市場向けの抵抗器が順調に売上を伸ばし、またタブレットPC市場向けのタンタルコンデンサが堅調に推移しましたが、既存のPC市場向けについては低迷が続きました。

LED照明製品につきましては、節電意識の高まりや電力料金の値上げなどを背景に売上は堅調に推移しました。

生産体制におきましては、タイ、フィリピン及び中国・大連のグループ工場で生産効率の改善とコスト削減を進めました。

なお、上記の売上高は外部顧客に対するものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ109億7千万円増加し、7,099億8千4百万円となりました。主な要因といたしましては、投資有価証券が73億4千1百万円、現金及び預金が72億2百万円、受取手形及び売掛金が41億9千2百万円、それぞれ増加した一方、たな卸資産が51億2千8百万円、有価証券が33億3千万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ37億9千7百万円減少し、815億7千万円となりました。主な要因といたしましては、未払金が22億2百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ147億6千6百万円増加し、6,284億1千3百万円となりました。主な要因といたしましては、為替換算調整勘定が72億4千3百万円、四半期純利益の計上等により利益剰余金が51億6千4百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の87.7%から88.5%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、市場動向としては現時点では期初の予想との比較において大きな差異は出ておりませんが、為替レートが期初の予想に対して円安傾向で推移していることにより為替差益が発生しており、経常利益、当期純利益は期初の想定を上回って推移しております。ただし、今後の為替相場の状況によって大きく変動する可能性があることから現時点では業績予想の見直しは行っておりません。今後、期初に公表しました業績予想に対して差異が発生するような状況になりました場合には、その時点において業績予想の見直しを行います。

<参考>平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年5月9日公表数値)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	151,000	0.2	9,400	255.7	7,100	—	6,500	—	60.29
通期	300,000	2.6	16,500	—	15,000	27.3	13,500	—	125.22

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	224,157	231,359
受取手形及び売掛金	64,960	69,152
電子記録債権	463	664
有価証券	15,996	12,666
商品及び製品	30,808	28,348
仕掛品	44,224	43,157
原材料及び貯蔵品	28,511	26,910
前払年金費用	2,092	2,073
繰延税金資産	987	1,090
未収還付法人税等	3,474	3,435
その他	7,657	7,420
貸倒引当金	△270	△280
流動資産合計	423,064	425,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	207,891	209,864
機械装置及び運搬具	453,506	459,329
工具、器具及び備品	42,323	43,647
土地	74,848	72,649
建設仮勘定	19,329	18,345
減価償却累計額	△584,465	△589,182
有形固定資産合計	213,432	214,654
無形固定資産		
のれん	100	91
その他	3,624	3,524
無形固定資産合計	3,724	3,615
投資その他の資産		
投資有価証券	38,489	45,830
繰延税金資産	7,352	6,649
その他	13,056	13,343
貸倒引当金	△104	△106
投資その他の資産合計	58,793	65,715
固定資産合計	275,950	283,986
資産合計	699,014	709,984



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,557	15,572
電子記録債務	—	1,871
未払金	18,507	16,305
未払法人税等	1,348	1,168
繰延税金負債	1,153	622
関係会社整理損失引当金	1,511	339
その他	15,671	15,149
流動負債合計	55,750	51,029
固定負債		
繰延税金負債	20,152	21,815
退職給付引当金	6,185	6,184
その他	3,278	2,540
固定負債合計	29,617	30,540
負債合計	85,367	81,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,403	102,403
利益剰余金	532,683	537,847
自己株式	△50,087	△50,088
株主資本合計	671,970	677,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,766	7,124
為替換算調整勘定	△63,466	△56,223
その他の包括利益累計額合計	△58,700	△49,098
少数株主持分	377	379
純資産合計	613,647	628,413
負債純資産合計	699,014	709,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	74,330	80,009
売上原価	52,728	59,132
売上総利益	21,601	20,877
販売費及び一般管理費	20,244	19,018
営業利益	1,357	1,859
営業外収益		
受取利息	295	343
受取配当金	204	233
為替差益	—	5,540
その他	483	237
営業外収益合計	984	6,354
営業外費用		
為替差損	2,059	—
環境整備費	—	99
その他	54	2
営業外費用合計	2,114	101
経常利益	227	8,111
特別利益		
固定資産売却益	2	333
保険差益	549	—
特別利益合計	551	333
特別損失		
固定資産売却損	1	137
固定資産廃棄損	32	17
減損損失	—	36
災害による損失	333	—
固定資産圧縮損	—	7
投資有価証券評価損	656	5
特別損失合計	1,024	203
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△245	8,241
法人税、住民税及び事業税	991	884
法人税等調整額	△1,250	566
法人税等合計	△259	1,451
少数株主損益調整前四半期純利益	13	6,789
少数株主利益	2	9
四半期純利益	10	6,780

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	13	6,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,262	2,358
為替換算調整勘定	△12,701	7,239
その他の包括利益合計	△14,964	9,597
四半期包括利益	△14,950	16,387
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14,949	16,382
少数株主に係る四半期包括利益	△1	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	35,770	25,242	7,123	68,136	6,193	74,330	-	74,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	490	245	2	738	13	752	△752	-
計	36,261	25,487	7,126	68,875	6,207	75,083	△752	74,330
セグメント利益又は損失(△)	△2,205	3,012	359	1,167	△437	729	627	1,357

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業、ライティング（照明）事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額627百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△75百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）703百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	36,550	28,734	8,223	73,508	6,500	80,009	-	80,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	493	735	12	1,242	16	1,258	△1,258	-
計	37,044	29,470	8,236	74,751	6,517	81,268	△1,258	80,009
セグメント利益又は損失(△)	△387	2,221	576	2,410	△537	1,873	△13	1,859

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業、ライティング（照明）事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△13百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△91百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）77百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「モジュール」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。